

宮城県感染症発生動向調査情報

平成29年3月9日発行

— 2017.2.27～2017.3.5—第9週—

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							仙 台 市 患者数	宮 城 県 (含 む 仙 台 市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第6週	第7週	第8週	第9週
水痘		10 1.00	2 0.40	2 1.00	1 0.33	7 1.40	1 0.50	9 0.33	32 0.54	258		○	レ	○
流行性耳下腺炎		3 0.30	2 0.40		1 0.33		1 0.50	2 0.07	9 0.15	102				
百日咳									0 0.00	1				
感染性胃腸炎	21 4.20	24 2.40	20 4.00	6 3.00	9 3.00		1 0.50	107 3.96	188 3.19	1,804	◎	◎	◎	◎
手足口病				1 0.50					1 0.02	11				
伝染性紅斑					1 0.33			3 0.11	4 0.07	22				
突発性発しん		6 0.60	1 0.20	2 1.00	4 1.33	2 0.40		11 0.41	26 0.44	225	レ	○	○	○
ヘルパンギーナ									0 0.00	0				
インフルエンザ	210 26.25	178 11.87	128 16.00	26 8.67	142 28.40	150 18.75	26 6.50	759 17.25	1619 17.04	20,383	◎	◎	◎	◎
咽頭結膜熱		3 0.30	1 0.20					19 0.70	23 0.39	112				
流行性角結膜炎									0 0.00	17				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	48 9.60	21 2.10	3 0.60	2 1.00	3 1.00	50 10.00	13 6.50	66 2.44	206 3.49	1,584	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	2				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎						2 2.00	2 2.00	3 0.60	7 0.58	64				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症		2 0.20						1 0.04	3 0.05	82				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)			1 1.00						1 0.08	5				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	7		3	1	1			6		◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向			
	川崎病						1							
	不明発疹症							1						

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 18例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

塩釜管内 男性1名
大崎管内 男性1名(第8週)、女性1名
気仙沼管内 男性1名(第8週)
仙南管内 男性1名、女性3名
仙台管内 男性2名、女性1名

3類感染症: 報告なし

4類感染症: 報告なし

5類感染症: ウイルス性肝炎

石巻管内 女性1名
劇症型溶血性レンサ球菌感染症
仙台管内 男性1名
後天性免疫不全症候群
仙台管内 男性2名(第8週)、男性1名

【定点把握対象疾患】

[インフルエンザ]

仙南、塩釜、大崎、登米、石巻、仙台管内で警報継続中

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]

仙南、石巻管内で警報継続中

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

インフルエンザ患者より

塩釜管内 第7週採取分 インフルエンザウイルスAH3型 1件
第8週採取分 インフルエンザウイルスAH3型 2件
石巻管内 第8週採取分 インフルエンザウイルスAH3型 2件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第6週採取分 (2.6～2.12)	第7週採取分 (2.13～2.19)	第8週採取分 (2.20～2.26)
インフルエンザウイルスA(H1)pdm9	0件	1件	0件
インフルエンザウイルスA(H3)	5件	4件	2件
インフルエンザウイルスB	1件	0件	1件
アデノウイルス	1件	0件	6件
サイトメガロウイルス	0件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス1型	1件	0件	0件

4. 今週のコメント

【今シーズンの感染性胃腸炎の流行状況について】

県では、3月2日に平成28年11月17日から発令していた感染性胃腸炎警報を解除しました。今シーズンの感染性胃腸炎患者報告数は、過去10年で最も多く、ピーク時の平成28年第48週には一定点医療機関当たりの患者報告数が45.75人となりました。この時期、胃腸炎の集団感染事例も過去7シーズンで最も多い103事例が報告され、このうち71%が幼稚園・保育園での事例でした。この集団発生事例中、102事例の患者からノロウイルスGⅡ群遺伝子が検出され、遺伝子型の90%以上がGⅡ.2でした。過去には、2010/2011年のシーズンでもGⅡ.2を中心とした流行が確認されていました。しかし、2010/2011シーズンに検出されたGⅡ.2と今シーズンに検出されたものを系統解析を行い比較すると、異なったクラスター(グループ)に分類されることが分かりました。以上のことから、過去に流行した型に変異が生じ、より大きな流行となったと考えられました。

宮城県定点週報告対象疾病の推移

